

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	62	学校名	宇都宮市立上河内中央小学校
----	---------------	------	----	-----	---------------

令和2年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の精神」を基盤に、21世紀社会の担い手として、「心身ともに健康で、主体的に考え表現でき、粘り強く頑張り抜き、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる人間」の育成を図る。

(2) 具体目標（具体的な児童像）

- ・よく考え、学ぶ子ども（かしこく）
- ・自分を見つめ、つくせる子ども（やさしく）
- ・明るく、たくましい子ども（たくましく）

2 学校経営の理念

「地域に愛され信頼される学校」を目指し、

- ・児童にとっては、毎日の活動を楽しみにし、「できる」「分かる」喜びが感じられ、自他を大切にす
る学校、
 - ・保護者にとっては、安心して子どもを通わせ、家庭の役割を自覚して共に力を合わせることで
きる学校、
 - ・地域住民にとっては、学校の取組を理解し目標を共有しながら積極的に連携・協働できる学校、
 - ・教職員にとっては、教育への情熱をもってチームとして組織的に取り組み、ワークライフバランス
を図りながら指導力向上に努める学校、
- となるよう経営を行う。

3 学校経営の方針

- ・児童一人一人のよさや可能性を認識し、認め合い、学び合い、高め合う集団づくりに努める。
- ・児童が学ぶ喜びを感じられるよう、不断の授業改善を行うとともに学習習慣の形成を図る。
- ・豊かな心や創造性とともに自らの目標の実現に向けて粘り強く努力する心と体のたくましさを涵養
する教育活動を推進する。
- ・教職員が、チームの一員として連携・協働しながら指導力を向上させるとともに、勤務時間を意識
した働き方を進める。
- ・校内体制の整備及び家庭との連携により、多様な児童の状況に応じた指導・支援を充実する。
- ・「小中一貫教育・地域学校園」と「魅力ある学校づくり地域協議会」（以下「地域協議会」）を充実さ
せ、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

「上河内地域学校園教育ビジョン」

かしこくたくましいゆずっ子の育成

—基礎を身に付け、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう—

4 教育課程編成の方針

法令等に基づくとともに、「栃木県教育振興基本計画 2020」、「第2次宇都宮市学校教育推進計画」など県・市の方針に加え本校児童・地域の実情や地域協議会の意見を踏まえて教育課程を編成する。

さらに、教科横断的な視点に立った資質・能力育成のため、各教科等の学習活動や扱う学習対象の共通点を明らかにし、単元等を関連付けて配列するよう努める。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校運営

- ・地域の教育資源等を積極的に活用した地域とともにある学校づくりの推進
- 校内及び地域学校園研修を中心とした教職員の資質・能力の向上
- ・不登校・スマホ・いじめに係る対策の充実など多様な児童の状況に応じた指導・支援の推進
- ・月1回のリフレッシュデーの確実な実施と業務の効率化促進

（2）学習指導

- ・基礎・基本の確実な習得と主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
- ・朝の学習等による学習内容の習得が不十分な児童に対する個別指導の充実

○学習の習慣化を図るための家庭学習の充実

（3）児童生徒指導

○いじめを許さない規範意識や正義感，思いやりの心の育成

- ・児童会を活用したあいさつ励行や「いじめゼロ」などに係る取組の推進
- ・不登校を生まない互いを尊重し合う温かな雰囲気の学級づくりと組織的対応の充実
- ・スマホ使用のルール徹底など情報活用能力の育成
- ・児童のよさを認め励ます教育の推進による自信や自己有用感の醸成

（4）健康（体力・保健・食・安全）

- ・学校行事等を活用した体と心のたくましさの涵養
- 投力や持久力などの体力向上及び姿勢の指導徹底
- ・健康指導，安全指導の推進（学校伝染病や熱中症予防対策充実，登下校時の安全指導の徹底）
- 食に関する指導の充実（バランスのとれた食事など望ましい食習慣の形成）

6 学習指導，児童生徒指導，健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

（1）育てたい資質・能力（地域学校園内で共通するものは，文頭に○）

- ・地域と連携した活動の充実による郷土を愛する心の醸成
- ・自主的に考え行動する力や折れない心，粘り強くやり抜く心の育成
- ・思いやりの気持ちをもって助け合い協力する態度の育成

（2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には文頭に◇）

○地域の教育資源等の積極的活用

- ・農業体験【学校行事】，伝統行事（ぼうじぼ）【総合的な学習の時間】等における人材活用

- ・地域の自然とのふれあい活動（羽黒山遠足【学校行事】，地域の公園等での体験活動【生活科】）
- ◇体験を振り返る活動や地域のよさを知る活動（作文等での表現活動【国語】，ふるさとカルタ取り大会【学校行事】）

○縦割り班「にこにこ班」の効果的活用

- ・学校行事における積極的活用（羽黒山遠足，農業体験，運動会，1年生お迎えの会等）
- ・清掃活動における日常的活用
- ◇いじめゼロ集会での標語作成

8 本市の重点施策・事業との関連

（1）地域とともにある学校づくり

①基本的考え

地域の伝統・文化，自然，施設等を生かすとともに地域で働く人の生き方に触れる教育活動を充実させるため，地域協議会に学校運営に関する基本的な方針を説明し，意見を踏まえながら連携・協働した取組を充実させる。

②主な取組

- ・伝統行事「ぼうじぼ作り」実施
- ・羽黒山遠足の安全確保に係る支援
- ・田植え・稲刈り等の農業体験に係る支援
- ・持久走大会に係る支援
- ・「親学」に係る連携・協働

（2）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

地域学校園において，学力向上や特別支援教育が喫緊の課題であることから，部会を中心とした組織体制を構築し，指導の連続性・系統性を図った取組を一層充実させる。

②主な取組

- ・学力向上部会など各部会での取組推進
- ・「学力向上アクション6プラン」に基づく小中一貫教育カリキュラムの一層の充実
- ・各種学力調査の分析等に基づく各教科の課題の見直し及び共通実践の推進
- ・うつのみやマネジメントシステム「全体アンケート」に基づく地域学校園内の共通実践推進
- ・不登校やスマホ使用の現状等に係る情報交換及び各小中学校での指導事項検討

（3）不登校対策

①基本的考え

温かい雰囲気学級の学級づくりを基盤とし，不登校の兆しが見られる児童の情報を共有しながら早期より組織的に対応する。また，児童の状況に合わせて別室登校支援を積極的に行う。

②主な取組

- ・あいさつ，称賛，励まし等の言葉かけや一人一人のよさを認める温かい学級づくり
- ・校内ケース会議の迅速な開催とチームによる支援体制の構築
- ・校内別室登校支援充実（副校長・担任・養護教諭を核とする担当者，場所，支援計画の明確化）
- ・保護者の心情を踏まえ目標を共有した積極的支援